

◇ 令和2年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「老上」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	28,134,189円		30,195,389円	事業収益を施設の維持管理に還元し、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	児童にとって、居場所となり、保護者にとって、安心して預けられる学童づくりをする。
施設HPアドレス			2年目					
指定管理者名	NPO法人スポキッズ		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	令和2年4月1日
施設の供用開始日	平成22年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和2年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
コロナ禍という例年とは違う環境下において、利用者が安全・安心して使用できるよう管理運営に努める。また、そのような中でも利用者のニーズに合わせた事業が少しでも行えるよう創意工夫を図る。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・保護者との連携、児童への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
例年通りの企画は行えなかったものの新型コロナウイルス感染症対策を徹底した中で、利用者が納得できる範囲での行事を少しでもできないかと模索しつつ、規模を縮小したり分散を図るなどして工夫をしながら行った。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は、他の申請団体と比べて保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、令和2年度においても、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たした。	
		(使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	基準に沿った職員配置を行い、安全、安心な保育の実施に努めた。しかしコロナウィルス感染症の影響もあり、職員体制は大幅に変更になった。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。また、定員を超える弾力運用での受け入れも行い、児童福祉の推進に協力いただいた。
	☆☆☆☆	研修に関しては、市が実施するものに加え、県の研修にも参加し、職員の意識と資質の向上に努めた。	☆☆☆☆	
	下半期評価	基準に対し、できる限りゆとりを持った職員配置とし、更なる保育の充実に努めた。研修に関しては、県と市が実施する研修に加え、施設内研修も行い、職員の意識と資質の向上に努めた。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。研修にも積極的に参加され、また、施設内研修を月に1回実施するなど、資質向上に努められた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実にに向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	コロナウィルス感染症の影響もあり、季節行事や毎月行事は一旦中止にした。登所人数の少ない日には縮小した行事をすることもあった。状況下の中でできる限り、保育内容の充実に努めた。夏休みは小学校の多目的室を借り、密を避けるために高学年と低学年を分散して保育を行った。個人情報を含む書類等は鍵のかかる書庫に保管し、管理を徹底した。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。コロナ対策としてこまめな消毒作業も実施されていた。関係機関とも連携をとり、児童が楽しめるように、保育の充実に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	コロナウィルス感染症の影響もあり、季節行事や毎月行事は引き続き中止にした。状況下の中でできる限り、保育内容の充実に努めた。休校で教室が借りれないときは、時間差をつけて保育を行うなどして工夫をした。年度末のみ行事を取り入れた。個人情報を含む書類等は鍵のかかる書庫に保管し、管理を徹底した。	下半期評価	関係機関等と連携し、時季に合ったイベントを実施された。教室が使用できない場合も、時間差をつける工夫をされていた。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりの配布により、家庭への連絡を行った。また必要に応じて個別面談を実施し、保護者との相互理解に努めた。	上半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられている。保護者が相談しやすい雰囲気を作られている。保護者との更なるリレーション構築に努められた。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	毎月のおたよりの配布により、家庭への連絡を行った。また必要に応じて個別面談を実施し、保護者との相互理解に努めた。3月にアンケートを実施し、「もう少し様子が知りたい」との要望が散見された。保護者会が開催されず直接伝える場がなかったためと思われる。改善に向けて検討を行った結果、子どもの様子や大切な連絡については通信で伝わるよう工夫し努力した。	下半期評価	概ね保護者への連絡・情報共有は出来ている。おたより等で児童の様子をもう少し詳しく知りたいとの意見もあるため、既に行動に移していただいているが、送迎時や配布物で児童の様子を保護者にこまめに伝えられるよう努められた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	月1回実施の日常点検と、消防設備等の法定点検を行った。怪我や事故の未然防止のため、職員間で日々の保育ミーティングで子どもの様子等について周知徹底し、安全な保育に努めた。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。ヒヤリハット事例など、保護者に詳しい方がいらっしゃれば、講師をしてもらっている。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	月1回実施の日常点検と、消防設備等の法定点検を行った。怪我や事故の未然防止のため、職員間で日々の保育ミーティングで子どもの様子等について周知徹底し、安全な保育に努めた。また、年度末に地震訓練を行った。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々清掃活動もされている。不備等あれば対応されていた。ヒヤリハット事例など、保護者に詳しい方がいらっしゃれば、講師をしてもらっている。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		